

```

% \documentclass[11pt,a4paper,uplatex]{ujarticle} % for uplatex
\documentclass[11pt,a4]{jarticle} % for latex
\input{pieces/form00_header} % pieces
\input{pieces/kakenhi7} % pieces
\input{pieces/form01_header} % pieces
\input{pieces/form02_2018_header} % pieces
\input{pieces/hook3} % pieces
% #Name: kiban_c
\input{pieces/form04_jsps_headers} % pieces
\input{pieces/form04_kiban_c_header} % pieces
% ===== Global definitions for the Kakenhi form =====
% 基本情報
%
% ----- 研究課題名 -----
\newcommand{\研究課題名}{象の卵}

% ----- 研究機関名と研究代表者の氏名 -----
\newcommand{\研究機関名}{逢坂大学}
\newcommand{\研究代表者氏名}{湯川秀樹}
\newcommand{\me}{\underline{\underline{H.~Yukawa}}}}
% ----- 研究期間の最終年度 -----
\newcommand{\研究期間の最終元号年度}{34} %平成で、半角数字のみ
% =====

% user07_header
% ===== my favorite packages =====
% ここに、自分の使いたいパッケージを宣言して下さい。
\usepackage{wrapfig}
%\usepackage{amssymb}
%\usepackage{mb}
%\DeclareGraphicsRule{.tif}{png}{.png}{ convert #1 `dirname #1 `basename #1 .tif .png}
\usepackage{lineno}

% ===== my personal definitions =====
% ここに、自分のよく使う記号などを定義して下さい。
\newcommand{\klpionn}{K_L \to \pi^0 \nu \overline{\nu}}
\newcommand{\kppipnn}{K^+ \to \pi^+ \nu \overline{\nu}}

% ===== 欄外メモ =====
\newcommand{\memo}[1]{\marginpar{#1}}
%\renewcommand{\memo}[1]{} % 全てのメモを表示させないようにするには、行頭の"%を消す

%\input{../sample/simple/contents} % skip
\input{pieces/hook5} % pieces

\begin{document}
\input{pieces/hook7} % pieces
% #Split: 01_purpose_plan
% #PieceName: p01_purpose_plan
\input{pieces/p01_purpose_plan_00}
\section{1 研究目的、研究方法など}

```

% <<最大 3ページ>>

%s02_purpose_plan_with_abstract_3p

\noindent

\textbf{(概要) ※\underline{10行程度}で記述してください。}\

%begin 研究目的及び研究計画の概要空行付き =====

象の卵の研究の目的は. . .

象の卵の研究計画と方法は. . .

\hspace*{10zw}% (概要) と (本文) の間が10行程度になるよう、必要に応じて値を調整してください。

%end 研究目的及び研究計画の概要空行付き =====

\noindent

\rule{\linewidth}{1pt}\

\noindent

\textbf{(本文) }

%begin 研究目的と研究計画 =====

\textbf{\hspace{1cm} *** 以下は、あくまで例です。真似しないでください。 ***}\

*** 本文はもちろん、節の切り方や論理の組み方は ***\

*** ご自分の気に入ったスタイルで書いてください。 ***}

象の卵の研究目的は. . .

象の卵の研究計画は. . .

\hspace{1cm}

\begin{thebibliography}{99}

\bibitem{teramura} 寺村輝夫、「ぼくは王様 - ぞうのたまごのたまごやき」.

\end{thebibliography}

%end 研究目的と研究計画 =====

\input{pieces/p01_purpose_plan_01}

##Split: 02_background

##PieceName: p02_background

\input{pieces/p02_background_00}

\section{2 本研究の着想に至った経緯など}

% <<最大 1ページ>>

%s03_background

%begin 本研究の着想に至った経緯など =====

風呂で巨大な温泉卵について考えていて、ふと思いついた。

準備はしようとしている。

多分できると思う。

%end 本研究の着想に至った経緯など =====

\input{pieces/p02_background_01}

```

%#Split: 03_publications
%#PieceName: p03_publications
\input{pieces/p03_publications_00}
\section{3  研究代表者および研究分担者の研究業績}
%      <<最大 2ページ>>

% s14_pub
%begin 研究業績リスト =====
  \begin{enumerate}
    \item \label{pub:whale} ``Search for whale eggs",
      \me\ {\it et al.},
      Rev. Oceanic Mysteries, {\bf 888}, 99 (2017).

    \item \label{pub:theoegg} ``Theory of Elephant Eggs",
      \me, \underline{Kara Juzo}, {\it et al.},
      Phys.\ Rev.\ Lett. {\bf 800}, 800-804 (2005).

    \item ``仔象は死んだ",
      \underline{Kobo Abe},
      安部公房全集, {\bf 26}, 100-200, (2004).

    \item ``The Elephant's Child (象の鼻はなぜ長い)",
      \underline{R.~Kipling},
      Nature, {\bf 999}, 777-779, (2003).

    \item ``You can't Lay an Egg If You're an Elephant",
      \underline{F.~Ehrlich},
      JofUR\
      ({\tt www.universalrejection.org}), {\bf N/A}, N/A (2002).

    \item ``Egg of Elephant-Bird",
      \underline{A.~Cooper},
      Nature, {\bf 409}, 704-707 (2001).

    \input{jack_pub}      % << only for demonstration. Please delete it or comment it out.
  \end{enumerate}
%end 研究業績リスト =====

\input{pieces/p03_publications_01}

%#Split: 04_rights
%#PieceName: p04_rights
\input{pieces/p04_rights_00}
\section{4  人権の保護及び法令等の遵守への対応}
%      <<最大 1ページ>>

% s09_rights
%begin 人権の保護及び法令等の遵守への対応 =====
  象の卵のES細胞の培養、象のクローンの生成などは行わない。
  象個体を現地から持ち出すことはないので、ワシントン条約ならびに
  生物多様性条約に抵触しない。また、組換え実験は行なわないので、
  カルタヘナ議定書にも抵触しない。

\noindent
\rule{\linewidth}{1pt}

```

`\linenumbers`

`\subsection{ついでに\LaTeX の便利な機能}`

`\subsubsection{節}`

通常通り `\textbackslash subsection`, `\textbackslash subsubsection` などが使えます。
番号は自動的につきます。

`\subsubsection*{番号なし節}`

`\textbackslash subsubsection*` のように * 付きを使うと、節の番号がつきません。

`\subsubsection{コメント文}`

%う～ん、これ言おうか言わまいか迷てんねんけどな、
%言うのも何やし、言わへんのもどうかと思うし、どうしようかなあ. . . .

`\LaTeX` では当たり前ですが、

今はとりあえず消すけど使う可能性のある文章は、

消さずに行の頭に `\%` をつけてコメントアウトすると、後で復活できます。

`\texttt{TeXShop}` や `\texttt{TeXWorks}` では、複数行選んでまとめてコメントにしたり
コメントから外したりできます。

`\subsubsection{編集用の行番号}`

`\texttt{lineno}` というパッケージを使えば、

`\textbackslash linenumbers` と `\textbackslash nolinenumbers` の間の行に行番号が振られます。

これは編集集中に他の人からコメントをもらうときに便利です。\\

`\textbf{最終版のPDFを作る前に、行番号は消してください。}`

`\subsubsection{編集用の欄外のメモ}`

`\textbackslash memo{}` を使うと右の例のように、欄外にメモを書けます。\\

`\memo{欄外メモ\\だよ}`

`\textbf{最終版のPDFを作る前に、\LaTeX ソースファイルの42行目付近にあるに従って、}`

`\textbackslash memo \textbf{}` を無効化してください。}

`\nolinenumbers`

%end 人権の保護及び法令等の遵守への対応 =====

`\input{pieces/p04_rights_01}`

##Split: 05_final_year

##PieceName: p05_final_year

`\input{pieces/p05_final_year_00}`

`\section{5 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項}`

% <<最大 1ページ>>

%s04_prep_finalyear

%begin 最終年度の研究課題 =====

`\newcommand{\最終年度研究種目名}{基盤研究 (Z) }`

`\newcommand{\最終年度研究課題番号}{99999}`

`\newcommand{\最終年度研究課題名}{シロナガスクジラの卵はなぜ見つけれられないのか}`

`\newcommand{\最終年度研究期間}{平成25年度～平成\1年目 年度}`

%end 最終年度の研究課題 =====

\input{pieces/p05_final_year_01}

\noindent

\textbf{当初研究計画及び研究成果 ※\underline{10行程度}で記述してください。}\

% <<10行程度で記述してください。>>

%begin 研究計画最終年度の応募の計画と成果 =====

研究課題の通り、シロナガスクジラの卵は見つけられなかった。

%end 研究計画最終年度の応募の計画と成果 =====

\

\noindent

\textbf{前年度応募する理由 ※\underline{10行程度}で記述してください。}\

% <<10行程度で記述してください。>>

%begin 研究計画最終年度の応募の理由 =====

さっさと次の研究に移りたいので。

%end 研究計画最終年度の応募の理由 =====

\input{pieces/p05_final_year_02}

##Split: 99_tail

\input{pieces/hook9} % pieces

\end{document}